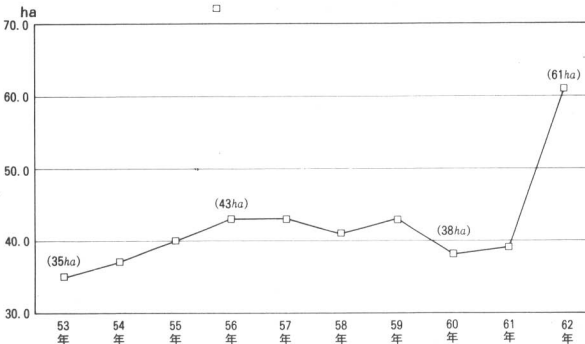


転作が実施されています。特に昭和62年から大幅に転作面積がわりあてられたので、村と農家は協力してこれに取り組んでいます。

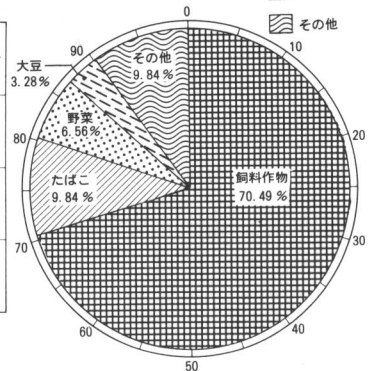
転作田には、米に変わる作物をさいばいして、収入をあげようと努力しています。転作作物の作付面積は、飼料作物（牧草・デントコーンなど）が全体の約70%をしめ、葉たばこ、野菜の順になっています。飼料作物が多い理由としては、畜産農家が多いことがあげられます。

このように、米作りのほかに畜産や葉たばこ、野菜の生産に力を入れる農家もふえ、それぞれの地域にあった作物のさいばいをするよう村ではすすめています。

〔転作した田の面積推移〕



〔転作作物〕



(昭62実績)